

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では大学生として知っておくべき身体のおしくみと病気の知識について、生理学から発展させ、身に付けることを目標としています。自分自身に関わりのある疾患を始め、日常よく遭遇する症状や疾患についての正しい知識を得られること、一次救命処置についても実践できる知識をつけられるよう講義を構成しています。健康運動実践指導者などの資格取得の際に必要な知識についても触れるようにしています。

また日本の医療制度やその問題点について理解するとともに、医療機関(病院や診療所)のしくみや診療の流れについても学修します。医療経済、医療を取り巻くビジネスについても学修します。

第7回の講義では、筋委縮性側索硬化症(ALS)という神経難病を通して、『死生観』についてディスカッション形式で講義を行う。

2. 授業の到達目標

我々の身体のおしくみ、外傷や疾患、スポーツ医学と障害などについて理解を深め、実生活に役立てること。簡単な応急処置について学修し、実践できる知識を身につける。

日本の医療制度や医療経済について理解を深める。

3. 成績評価の方法および基準

講義中の学習態度(10%)、試験の成績(90%)を総合して評価する。

欠席が4回以上(補講も含む)の場合は、単位を付与しない。

公欠は出席扱いとするが、回数が多い場合は、別途課題を課す場合がある。

講義中に理解度確認テストを2回行うが、合計で6割以上の得点が成績評価および単位取得に必要である。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定のテキストは使用しない。講義ごとに講義資料を配布する。

参考文献

一般社団法人 日本スポーツ医学検定機構 スポーツ医学検定 公式テキスト1級 東洋館出版社

医療情報科学研究所 編 病気がみえる vol. 11 運動器・整形外科 MEDIC MEDIA

中村利孝・松野丈夫 標準整形外科学 医学書院

高松 研・堀内ふき 生体のしくみ標準テキスト 医学映像教育センター

福井次矢／奈良信雄 内科診断学 医学書院

5. 準備学修の内容

MELIC内の参考図書やweb検索などで、積極的に準備学習、復習をすることが望ましい。

LMS上に連絡事項や資料も載せるので、毎講義前・後に随時確認すること。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語は厳禁で、目につけばその場で退室を命じ、その後の履修継続は認めない。

7. 授業内容

- 【第1回】 感染症とワクチン
- 【第2回】 病院と医療のしくみ
- 【第3回】 健康診断と生活習慣病
- 【第4回】 救急蘇生と応急処置
- 【第5回】 スポーツ障害
- 【第6回】 頭痛・腹痛
- 【第7回】 神経難病と『死生観』
- 【第8回】 胸痛・腰痛
- 【第9回】 眼科疾患・耳鼻科疾患
- 【第10回】 運動器疾患
- 【第11回】 婦人科疾患・泌尿器科疾患
- 【第12回】 脳卒中
- 【第13回】 『がん』について
- 【第14回】 緩和ケア
- 【第15回】 医療と周辺領域の問題点